

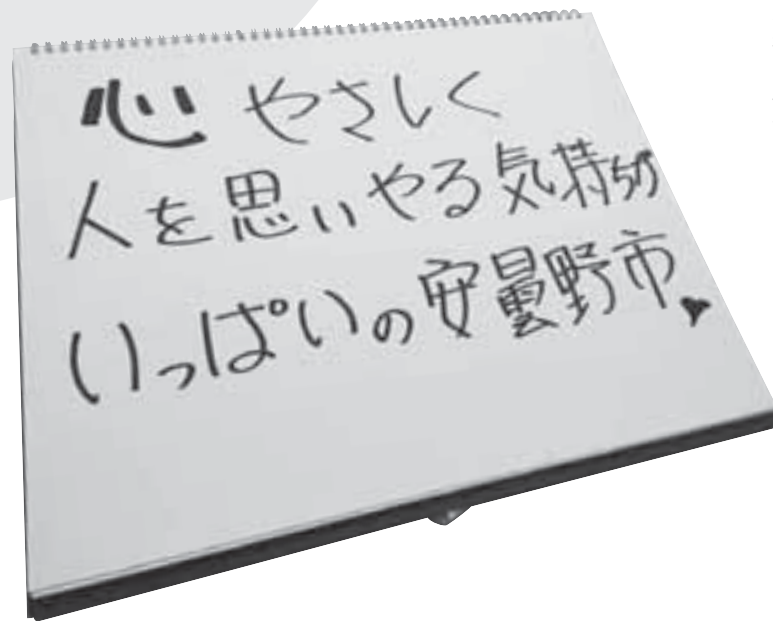
もう一歩のやさしさを
持てればと思います。



松田篤子さん
(三郷地域)

三郷の中萱医院の医療事務員。お気に入りの景色は「稲刈りのころ、平成橋付近でトンボが北から南に飛んでいく風景」

中萱医院(三郷)には、もとより旧三郷村外からお見えになる患者さんがいます。先日、患者さんから「今度同じ市になったね」と声を掛けられました。これからは、より肩を張らずにお付き合いできるかもしれませんね。新しい市は、人口が増えた分、さまざまな生活形態やそれぞれの事情を抱えた人がいらっしゃるのだと思います。医院の仕事でも多くの人と接しますが、どんどん社会が複(こ)



合併した実感は正直あまりありません。今後、イベントなどで、いろいろな人に広く市を知ってもらうことも大切だと思います。また、合併して大きくなりましたが、安曇野の素朴な自然環境とは、今後も残してほしいと思います。小学生のころ、友だちとカブトムシやサワガニをとって遊んだことなど、この辺りの豊富な自然環境から学んだことがたくさんあったように思

合併で大きくなったが、
素朴な自然は残して欲しい。



飯島智志さん
(堀金地域)

地元で育ち、警備会社に就職。「安全を守る仕事を通じて、社会貢献をしたい」

います。当時、外で一緒に遊んでいた友だちは今でも仲が良く、人とのつながりという意味でもかけがえのないものとなりました。今の子どもたちは、治安の問題などもあり、外で自由に遊ぶことの難しさもあると思います。そういうことができる環境は貴重だったと思います。安全で子どもたちがたくさん遊べる環境を維持していくことが、大事なことだと思います。

雑になってきていることを痛感します。

わたしの母も高齢になり、これまでできたことができなくなるなど目に見えて年を取りました。ついついイライラしてしまうこともあり、母に対して、もう一歩の優しさを持てればと常々考えます。100%という訳にはいかないかもしれませんが、優しさももうひとつあると、少しでも幸せに近づけるのではないかと思うことがあります。会社の人間関係や近所付き合いなども同じで、私も含め、なかなか難しいことですが、多くの人が優しさと思いやりを持つことができたら、きつと素晴らしい地域づくりができるのではないかと思います。この辺りは、何か協力しなければならぬときは、さっと

協力できるという良さがあると思います。そのような良さはこれからも大切にしていきたいと思えます。わたしたちの年代は、これまでの半生を見つめ、これから先の人生を見極めていくちようどよい年代だと思いません。先のことを見据えながらも、この一年を元気で明るく過ごしていきたいと思いま



わたし自身は現在、警備会社に勤めています。豊科方面を中心に、市内での仕事も多くあり、みんなの安全を守る大変やりがいのある仕事だと感じています。仕事を通して、安全を守り、社会に貢献していきたいと思えます。警備業界では、今、法律が変わるなどで、多くの資格が必要とされています。今年にはさらに資格を取得するなどして、自分自身の能力を高めていきたいと思っています。

安曇野市誕生 記念式典を開催

安曇野市の誕生を記念し、市民の皆さんとともに喜びを分かち合い、市内外に新市の誕生を発信するために、「安曇野市誕生記念式典」を開催します。

式典は2部構成で、第1部では市町村合併功労者総務大臣表彰のほか、「ぼくの思い、わたしの思い」と題して、市内の小中学生の代表5人による市への思いの発表などを行います。

第2部では、アナウンサーの鈴木史朗さんをお招きし、「長寿のコツ～鈴木史朗の健康道場～」と題した講演を行います。

参加申し込みは不要です。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時 2月26日(日)
午後1時30分～午後5時
(受付：午後0時45分)

■場所 安曇野市豊科公民館大ホール
(当日は豊科近代美術館を臨時駐車場としますが、駐車場の混雑が予想されます。車でお越しになる場合は、できるだけ乗り合わせてお越しください)

■主催 安曇野市
■問い合わせ 県安曇野庁舎内
企画財政部企画政策課 (TEL 71・2000)